

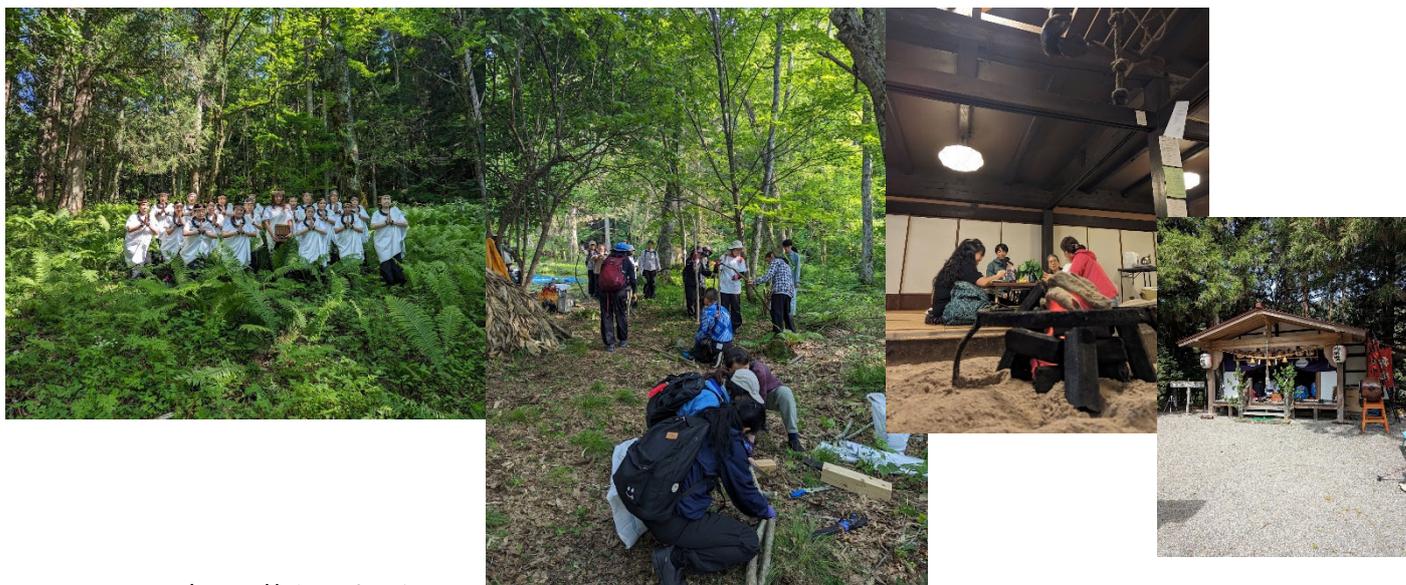
ヒダクマ フラダンスの楽器「カラアウ」製作のための森ツアー受け入れ

カトーエミイ舞踊塾のみなさまを森と福地温泉にお迎えして、「フラダンスの奉納」とフラダンスの楽器「カラアウ」製作のための木の採取など、森の新たな活用方法を探りました。

日にち:6/1(土)~2(日)

場 所:森と福地温泉

参加者:カトーエミイ舞踊塾 20 名、プロジェクトメンバー10 名程度



いや、度肝を抜かれました。

優雅なフラダンスと全然違いました。古典派と言われるフラダンスは空手の型のように。神聖な舞踊でした。ハワイは日本と同じく活火山が多く、人々の暮らしも火山とともにあり、山の女神「ペレ」にフラを奉納し、大切にしています。福地の森は活火山「焼岳」まで直線で約2km、天気が良ければ噴煙が見えます。この森から焼岳に向かい踊りを奉納しました。

足元のシダはハワイのシダとそっくりで、みなさん驚いていました。

また、「カラアウ」に使う木は、広葉樹が適しており、特に栗の木が良いようです。

福地にもあります。ちょうど良い太さの枝をしっかりと採取できました。

ヒダクマさんでも事前に飛騨の広葉樹を用意していただいて、みなさんに行き渡りました。

翌日は森で Café や草木染を楽しもうとしましたが雨。

福地温泉のみなさんに大きな古民家の公民館を貸していただき、囲炉裏(福地は雨が降ると6月でも小寒い)を囲んで草木染に熱中、216works のサポートで café タイムを満喫。みなさんの協力で無事にツアーを終えることができました。ありがとうございました。

ちなみに、福地の民族舞踊「鶏芸」は福地にある「岩動(いするぎ)神社」=白山(岐阜と石川の県境)を起点とする山岳信仰の神様に奉納する舞踊。フラと同じです。

舞踊を通じた文化交流ができると、福地にも新しいお客さまが訪れそうです。

「福地温泉 森をひらくプロジェクト」